

# ほんのきもち



上ノ加江小学校 3、4 年生とつどい処【ワンチーム】とのボッチャ交流の様子



## 災害ボランティアセンター運営模擬訓練



災害ボランティアセンターは、災害により被災した地域に設置し生活の復旧や再建に向け救援活動を円滑に行うための組織です。助けを必要とする困りごとに対し、ボランティアの力を借りる作業の調整とボランティア活動が安全に行き届くよう支援します。いわば、被災した方の相談窓口であり、ボランティアを志願する方の案内窓口です。

中土佐町では、中土佐町災害ボランティアセンター連絡会を立上げ、日頃から設置や運営について協議しています。継続的に勉強会や模擬訓練を行い、いざという状況に備えるようにしています。R4年度には、南海トラフ地震を想定し役場庁舎 2 階のエントランスに災害ボランティアセンターを設置し模擬訓練を実施しました。あらゆる場面を想定した訓練を行い、失敗や課題を振り返りながら、有事に臨機応変に動ける人材や力を伸ばしていきたいと考えています。

また、いざという時に備えた事前の[ボランティア活動登録](#)を常時行っています。力をお貸しいただける方の登録をお待ちしています。（登録用紙は社協にあります。）

### ボランティア募集中

いします。

申込み、お問合せは下記までお願い

### カメラマン募集

令和5年12月に開催予定の町内  
在住の障害のある方による作品展  
『心がつながるアート展』に出品され  
る作者の紹介写真を撮影してくれる  
カメラマンを募集します。プロ・アマ  
問いません。

### ボランティア活動保険

加入にあたっては、中土佐町社会福祉協議会への登録が必要です。保険期間は、加入手続きをした翌日から令和6年3月31日までとなっており、いつでも加入が出来ます。

	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
年間保険料	350円	500円	550円

中土佐町ボランティアセンターでは、安心してボランティア活動を実施していただけるように**個人ボランティア**に対する保険料350円を助成します。

補償金額、補償内容等についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

中土佐町ボランティア・福祉学習センター、中土佐町災害ボランティアセンターに関すること  
社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会内 中土佐町ボランティア・福祉学習センター  
担当：竹田 電話 0889-52-2058

## コミュニティの輪が広がる 地域モーニングサロン



年々地域での集まりごとが減ってきたと感じる今日この頃。しかし地域には、気軽に人が集まり、賑わっている場所がありました！しかも、地域を超えて客として訪れる住民もおもてなしする活動者もみんな笑顔のサロンです。「モーニング行こうや！」でコミュニケーションが生まれます。

### 大矢井賀地区 矢井賀をよくする会



◆毎月第2、4土曜日に矢井賀コミュニティセンターで開催。新鮮な野菜やちらし寿司、炊き込みご飯、日用品などを販売する《一の市》も同日開催。



### 久礼長沢地区 長沢女子会

◆毎月第3か第4日曜日に長沢地区集会所で開催。この日は開店と同時に満席となり、『長沢女子会』のメンバーもニコニコ笑顔でてんでこ舞い。子ども連れのお客さんも多く、アットホームな雰囲気。

### 大野見北地区 北地区振興会



◆毎月第2日曜日に旧北小学校のホールで開催。『北地区振興会』13名の女性陣を中心に2班に分かれて準備。当日は、大正町市場からタタキや干物、久礼天など出張販売もあり。



季節に合わせたひと工夫が客人を喜ばせてくれます♪



### 大野見中央地区 読遊会

◆毎月第3土曜日に大野見青年の家食堂にて開催。今年で14年目を迎えるモーニングサロン〈ふれあい広場〉は、平均年齢83歳の『読遊会』メンバーによる愛情たっぷりおふくろの味。

## 上/加江

## ふれあい会×上/加江小学校5、6年生

「こんにちは。」小学生と一緒に顔見に来たよ。」  
7月3日（月）『おとなりふれあい会』と上ノ加江小学校5、6年生7名が3班に分かれひとりの暮らしの高齢者宅を訪問しました。少々緊張した面持ちの小学生から「好きな事はなんですか?」「お出かけは好きですか?」と質問をされると、ニコニコと笑顔で丁寧に答えてくれます。束の間の時間ですが、小学生が訪ねていくと空気が和むと「おとなりふれあい会」の皆さんも実感しています。次回、「おとなりふれあい会」との訪問は3学期の予定です。



## ポッチャでスポーツ交流×上/加江小学校3、4年生

パラリンピックの種目にもなった『ポッチャ』をご存じですか? ルールは簡単で子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツです。  
7月10日（月）上ノ加江小学校3、4年生が地域活動支援センターの「ワンチーム」とスポーツ交流を行いました。「ワンチーム」は、障害に関する理解、啓発を地域に積極的に行う当事者のグループです。この日は、自身の障害やヘルプマークの紹介をした後に、4チームに分かれて『ポッチャ』の対戦をしました。児童と「ワンチーム」のメンバーで作戦を練り、助け合いながらゲームを進めました。参加した児童からは、「チームで投げ方とか良いところをほめ合ってうれしく楽しく試合ができた。」と感想が聞かれ、短い時間でしたが、和気あいあいと交流ができました。



## 地域で活躍する団体 〈参禅会〉

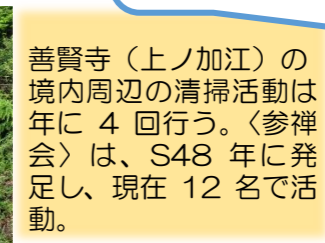
メンバーの安全を第一に考え活動しています。必要とあらば、メンバーと相談しボランティア活動の幅を広げて地域に貢献できるとしています。



この日、台風6号の影響で蒸し暑い中での作業。会長の合図で休憩を取り、次の作業の作戦を立てる〈参禅会〉の皆さん。



勾配のきつい斜面の草刈りも連携プレーで手際よく片付ける。汗と雨でびしょびしょになりながらお盆を迎える準備が整いつつある。



善賢寺（上ノ加江）の境内周辺の清掃活動は年に4回行う。〈参禅会〉は、S48年に発足し、現在12名で活動。



地域に目を向け、今後は自主防災組織との連携も必要だと感じている。